

2025年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 16 日

1. 職名・氏名 教授 山口理恵子

2. 学位 修士、専門分野 人間科学、授与機関 西南学院大学、授与年月 2007年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 権利擁護を支える法制度（2単位）社会福祉学科3年次、経済学科・経営学科2年次以上
②内容・ねらい（自由記述） 日常生活自立支援事業、苦情解決制度をはじめとする社会福祉の対象者の権利擁護支援を行うための制度に関する知識を獲得する。成年後見制度を中心に民法、行政法、憲法と社会福祉各法の関係についてについて社会福祉士として実践で要求されるレベルまでの知識を獲得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 相談援助と法律の関係を可視化するため、ドキュメンタリー等の視覚教材を使用している。映像はポイントとなる場面で一旦停止し、解説を入れる等、法律との結びつきを示し、飽きないよう工夫を行っている。またビデオ教材はオンデマンドでGCから配信し繰り返し視聴することを可能にすることで理解が深まるよう工夫している。プリントやパワーポイントの教材もGCにUPし欠席学生のためのフォローを行った。特に重要な箇所についてはGCを駆使し授業の振り返りになる質問を出題している。学生の質問に対しては、本人の同意を得て全体にフィードバックすることで復習となるよう工夫し、全体のモチベーションの向上につなげた。極地大雨警報が出された際はハイブリットによる授業に切り替え柔軟に対応した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 社会保障・社会福祉概説（2単位）看護学科1年次
②内容・ねらい（自由記述） 社会福祉・社会保障に関する制度や法律、行政の仕組み・取り組みを理解し、日々の看護活動に活かせるように学習する。社会福祉の機能、歴史とともに社会保障の目的や対象・制度・サービスについて説明できる。看護職と連携して仕事を行うソーシャルワーカーの活動の概要を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 1年生に苦手意識を持たず社会保障制度の理解を促すために、頻回に事例を使用している。また副教材として図解・グラフを多く使用することで視覚からの理解を促すよう心掛けた。 開始時に前回の復習としてクイズ方式の出題をすることで国家試験のイメージやポイントを掴めるよう工夫しつつ、終了時には自己の見解も取り入れるコメントの提出を促し理解度の確認とともに質問、自由な意見を述べる方法を取り込んでいる。必須科目であるが、5限連続の5限目という時間割にも配慮し、休憩になるような息抜き話題も取り入れている。
①現代福祉問題論（2単位）社会福祉学科1年次オムニバス 「判断能力が不十分な人々の地域生活を考える」を担当
②内容・ねらい（自由記述） 新入生にとって全体像がまだわからない社会福祉学科における学習内容、とりわけ、2年次以降に学ぶ内容にかかわる話題を、学科のさまざまな科目の担当者の視点から、1回ごとに完結する形態で紹介する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 本年度は、人間の尊厳と意思能力を主題として、津久井やまゆり園事件を題材にした。具体的には、同事件に関する複数の映像資料を活用し、加害者と面談した識者による解説や、被害者のその後の生活を扱った映像を通じて、事件の背景と今後について考察する内容とした。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 社会福祉演習（2単位）3年次
②内容・ねらい（自由記述） 学生の実習での経験や後見実務の説明を踏まえ、事例等を用いながら利用者の権利を擁護し意思決定を支援するための制度及びそれを駆使するソーシャルワークの方法に対する考察を深めていく。ケースに応じ権利擁護に係わる制度と関係他機関を連携させる能力を養う。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 前期は講義科目「権利擁護を支える法制度」の知識を踏まえ、事例を用い、ディスカッションを行った。後期は、実習経験等をふまえ卒業研究を視野に入れ実習で抱いた疑問・興味を中心に意見交換を行った。本年度は福井市とのプロジェクトである「身寄りのない人々への入院支援、死後事務」において成年後見人等による対応が可能な内容と別途制度が必要な問題を検討するとともに、判断能力に関係なく生じ得る上記のニーズを考える内容とした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 権利擁護特論（2単位）大学院1年次
②内容・ねらい（自由記述） 社会福祉において要請される個別・多様性と法制度において不可避である画一・類型性、この相反する両者を如何にして調整し調和を図るべきかという視点を中心に議論を深め、自らの問題意識及び研究テーマに関連させつつ、権利擁護に関する議論を展開する力を得る。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 受講生は社会人であり、制度に対する把握度が毎年異なるため、柔軟に内容を変更している。まずは実践の場で生じている問題や判例から興味や関心となる話題をピックアップし、自らの経験にも照らし合わせられるようにしている。最終的にはそれぞれが作成する修士論文にこの授業で学ぶ視点が反映されるよう研究テーマに合わせた個別対応も行っている。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 権利擁護演習（2単位）大学院2年次
②内容・ねらい（自由記述） 修士論文指導
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 履修生の居住地や就業状況に配慮し、オンラインと対面の双方を活用しながら進めている。
(2)その他の教育活動
① 愛知教育大学非常勤講師（権利擁護と成年後見制度、2年次、2単位） ②福井県立大学「社会福祉士国家試験対策講座 権利擁護と成年後見制度」（2020年度よりオンライン）福井県社会福祉士会との共同開催であり2016年の着任時から継続して「権利擁護と成年後見制度」を担当している。毎年のアンケート結果を踏まえ次年度の授業内容を改善している。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)
②論文(査読あり)
③その他論文(査読なし) ・成年後見制度における苦情対応と体制整備の方向、企業年金 44 (1) (1,2 月合併号) 企業年金連合会、2025 年 1 月 (・「権利擁護概念の変遷～成年後見制度をめぐる施策を中心に～」 福井県立大学論集 62 号 2025 年 11 月 1 日投稿済) (1 本 他投稿中 1 本)
④学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所))
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
※「学外・学内」を分けて記載ください。 【学外】 公益財団法人ユニバーサル財団 「有期制の成年後見制度導入に伴う新たな権利擁護支援のあり方に対する研究」 2026年3月 - 2027年4月予定(助成額) 580,000円 研究代表者 科学研究費補助金基盤研究(C)「社会福祉サービスのシステムを生かした成年後見人の質の向上に関する研究」2022年4月～2027年3月予定(助成額) 4,160,000円、研究代表者 【学内】福井県立大学 KF 枠研究費 「自治体の行う身元保証、入院時支援、終活支援サービスに関する研究」 2025年6月～2026年5月 (助成額) 185,5000円、代表研究者
(3)特許等取得
(4)学会活動等
学会での役職など(学会名) 日本社会福祉学会 機関誌「社会福祉学」査読委員(2024 年 4 月～現在)
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） ・ 福井市身寄りのない人々への入院支援・終活支援プロジェクトアドバイザー（2025 年 4 月～現在） ・ 福井県薬剤師会倫理審査委員（2024 年 7 月～現在） ・ 福井県成年後見制度利用促進ネットワーク協議会議長（2023 年 3 月～現在） ・ 坂井市地域共生社会推進会議委員（2021 年 12 月～現在） ・ ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン（事務局福井市）成年後見制度利用促進事業運営委員長（2020 年 4 月～現在） ・ 坂井市福祉保健総合計画策定委員会委員（成年後見制度利用促進基本計画策定部会長）（2020 年 4 月～現在） ・ 坂井市中核機関委員会（現：坂井市成年後見制度地域連携ネットワーク協議会）委員（2019 年 4 月～現在） ・ 坂井市法人後見運営委員会委員長（2018 年 4 月～現在） ・ 大野市社会福祉協議会法人後見立ち上げ準備委員（2018 年 4 月～2019 年 3 月） ・ 福井県社会福祉協議会地域福祉推進研究会 オブザーバー（2018 年 4 月～現在） ・ 福井県社会福祉協議会福井県高齢者・障害者日常生活自立支援センター 契約締結審査会委員（2017 年 4 月～現在） ・ 福井県立病院倫理審査委員会委員（2017 年 4 月～現在）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間） ・ NPO 法人シビルブレイン（大阪）理事：専門職を中心とする後見受任及び市民後見人育成・法人後見推進、事例検討他、成年後見制度全般に係る調査研究、月 1 回のオンラインミーティング（2014 年 5 月～現在）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等（事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
⑦その他（名称、活動場所、活動期間） ・ 坂井市成年後見制度地域連携ネットワーク協議会「成年後見制度の改正動向、新日常生活自立支援事業」（2026 年 2 月 2 日予定）
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）
③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
（活動内容、主たる活動場所、活動期間）
・ NPO 法人抱樸（福岡市、北九州、下関市） 「希望のまちプロジェクト」に対する募金活動、

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
（職名、期間）
(2)委員会・チーム活動
（名称、期間） ・人権・倫理審委員会（人文・社会科学系研究部会長）（2025 年 4 月～現在） ・看護福祉学部研究活性化ワーキングチーム（2020 年 12 月～2025 年 3 月） ・学生支援委員会委員（2022 年 4 月～2025 年 3 月）
(3)学内行事への参加
（行事名、参加日時） ・大学院ワークショップ、2025 年 6 月 11 日 ・国家試験対策講座「権利擁護と成年後見制度」福井県立大学（オンライン開催） 2025 年 11 月 13 日 ・大学院中間発表会、2025 年 11 月 5 日及び 11 月 12 日 ・高校訪問 看護福祉学部の概要説明 オンライン県外担当（但該当なし）
(4)その他、自発的活動など
（活動名、活動内容、活動期間）